

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 日本合成化学工業(株)		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-88 タワ-イ-ズ33階	
本票作成	部署名：生産技術本部 水島工場 保安環境室				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	酢酸ビニル、ポリビニル、エチレン/酢酸ビニル共重合体の製造を行う。 各製品の公称生産能力は上記の左から18万t/年、4.08万t/年、1万t/年である。 従業員数は192名（7月末現在）				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	生産技術本部 水島工場		倉敷市松江4-8-1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数                      1    所                      ●車両台数 (②該当の場合)                      台)				

計画期間	平成 22 年度		～	平成 26 年度		( 5 箇年度)				
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準		目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準							○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 21 年度)				目標年度 (平成 26 年度)					
	137,000 t CO <sub>2</sub>				130,000 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 21 年度) の排出量						
	①	生産技術本部 水島工場		137,000 t CO <sub>2</sub>						
				t CO <sub>2</sub>						
				t CO <sub>2</sub>						
				t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	工場の製品数量の年度合計値 153,934 t/年 (平成21年度)		基準年度	目標年度
			0.890 t CO <sub>2</sub> / ( t )	0.845 t CO <sub>2</sub> / ( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 ( 年度)	達成率(%)

【目標削減率設定の基本的な考え方】

これまで「エネルギーの合理化に関する法律」に基づき、エネルギー原単位、年平均1%削減を目標に活動してきた。今後も同様の方針でエネルギー(CO<sub>2</sub>)削減対策を計画立案/実行する予定であり、原単位基準の削減率を採用した。

【目標削減率達成のための推進体制】

エネルギーの有効な利用を図ることを目的とし、工場エネルギー管理者と共に各課・室長（製造/技術/事務）をエネルギー管理者に任命し、省エネルギー（CO2削減）を推進する体制を整えている。また工場内で「省エネルギー・環境対策プロジェクト」を立ち上げ、具体的なCO2削減案を計画/実行し上記目標（年平均1%削減）を達成する活動をしている。また環境マネジメントシステムは、平成10年から運用している。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
生産技術本部 水島工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷水(UW)ポンプの効率的運転 (平成21年度の削減実績 647tCO2/年)</li> <li>照明設備(白熱灯から蛍光灯又はLED灯へ)の変更 (平成21年度の削減実績 61tCO2/年)</li> </ul>

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
生産技術本部 水島工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>照明設備(白熱灯から蛍光灯又はLED灯へ)の変更 (平成22～25年度の予定削減量 122tCO2/年)</li> <li>冷凍設備(冷媒変更も含む)の更新 (平成22年度の予定削減量 286tCO2/年)</li> <li>ポンプのインバーター化 (平成22年度の予定削減量 91tCO2/年)</li> <li>溶剤回収工程改善(AcHカット塔設置) (平成23年度の予定削減量 4,582tCO2/年)</li> <li>溶剤回収工程への高度制御導入 (平成23年度の予定削減量 2,618tCO2/年)</li> <li>ドライヤー風量の削減 (平成22～25年度の予定削減量 156tCO2/年)</li> </ul> 以上による予定削減量合計は7,855tCO2/年

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

--